

大学「防控」⁽¹⁾の「雲課堂」⁽²⁾についての一考察

— 中国、日本、海外の場合 —

李 燕

目次

はじめに

一、中国の大学「防控」の「雲課堂」

1. 2022年の春学期

①必須の「雲課堂」

②「雲課堂」と対面授業

2. 北京 Y 大学の「雲課堂」

①海外時差の克服

②「雨課堂」⁽³⁾。心を温める事

二、日本の大学「防控」の「雲課堂」

1. K大学の「雲課堂」

2. K大学「防控」管理

①食堂「出入口単行」

②図書館利用と大学内指針

③「防控」の「雲課堂」評論

三、海外の大学「防控」の「雲課堂」

1. アメリカの大学「防控」の「雲課堂」

①全社会に開放的「雲課堂」

②学費と生活費への心配

2. オーストラリア、カナダの大学「防控」の「雲課堂」

①海外の中国人留学生

②授業録画と今後の「雲課堂」

おわりに

はじめに

去年、筆者は中国と日本の小学生におけるオンライン授業を考察したが、今回、中国、日本、海外の大学「防控」の、「雲課堂」（オンライン授業）が2年間あまりどのように展開し、学生と教職員はどのように一丸になって大学を建設して、そしてどのように現状を打開しているのかを、大学現場で教鞭とる筆者は考察したい。

一、中国の大学「防控」の「雲課堂」

1. 2022年の春学期

2022年春学期の入構は「中風険地区」⁽⁴⁾にある大学でも、学生の入構を延期する指示が何か所もの大学から通知された。⁽⁵⁾前学期のように、入構することなく、「雲課堂」を受けることになった。

①必須の「雲課堂」

北京市にある北京語言大学、對外經濟貿易大学、北京林業大学、広西省にある広西大学、陝西省では、一部の大学の学生が入構延期となった。ただし、卒業見込みの学生は卒業論文のための実習、実践は関係部門からの認可を得て、2月25日から三日間の間に入構できるが、特別な原因の学生は審査

によって3月18日前に入構して、そして72時間以内にもう一度PCRの検査を受けて、集団活動、人との飲食、人との集まりが制限されて、大学の「防控」要求の遵守が義務付けられた。「中風険地区」以上の場所に住居及び旅行した教職員は、しばらくの間、入構しないようにする。もちろん「防控」の変動によって、改めて通知を出すのである。学生たちは入構しないまま、授業を計画通りに「雲課堂」を受けることとする。⁽⁶⁾

②「雲課堂」と対面授業⁽⁷⁾

「中風険地区」以外の大学は、入構時間は本年2月21日前後にする。特に武漢大学、アモイ大学、上海交通大学、中山大学等の入構時間が割合早い。

北京林業大学の学生は入構延期であるが、教職員が2月20日から正常通り勤務して、学生たちはまず2月20日から科目表通りに4週間の「雲課堂」を受けてから、3月21日に教室で対面授業を受ける予定である。

2. 北京Y大学の「雲課堂」⁽⁸⁾

北京Y大学は世界各国の留学生を多数受け入れる言語学系の大学で、「雲課堂」は時空を超えられている。

①時差の克服

コロナの期間中、スイスに滞在しているS博士⁽⁹⁾は、北京Y大学の学生のために何科目かの「雲課堂」を担当していて、カリキュラムの時間割を守り、地元の夜中1時に直接に北京Y大学の「雲課堂」の授業をする。それは大変の中、時差を克服するのである。

W博士が南カリフォルニア大学の言語学専攻した後、北京Y大学の青年教員として招聘されたが、突発したコロナのためにアメリカにいなながらも帰国できず、新教員の手続きはできないまま、大学と修士課程の教科を担当しな

ければならなかった。学生と互いにコミュニケーションできるために、W博士はノートパソコンと一般のパソコンの両方を使い、多数多くの動画と手書きの入力法で教材作り、その「雲課堂」を高評されたのである。

②「雨課堂」。——心を温める事

W教員とS教員は北京大学と北京師範大学の博士学位をそれぞれ獲得して、2019年、北京Y大学の言語学系で教鞭をとった。今回、2人の教員は「雲課堂」を設立して、授業のそれぞれの対象と課程の目標を選んで教育を展開した。W教員は「雨課堂」を設立して、大学生の現代中国語基礎教育を展開させて、動画や教員と学生との質問と回答を通して、生き生きとした語学の資料を分析し、学生たちの直観的認識が可能になり、好評されたのである。

さて、2020年5月1日：この日、北京Y大学は304名の中国人学生と外国人留学生への特別な心を温める在校生の食事を無料で提供した。学生たち特に外国からの留学生たちは感動させられた。「我々留学生の在校生が大学側に感謝を申し上げる」と。また「防控」する教職員、学生たちの全員に、学校側が大変に協力していただきありがたく、このように無料食事で感謝を申し上げます。

コロナの爆発以来、大学側から在校生の生活、学習の状況、かつインターネットの無料を提供して、「雲課堂」の参加を保障した。助教の先生方が学生と密接に連絡を保ち、学生たちのストレスを解決しようとする。また全員に、体温計と弁当箱を無料で提供する。学生宿舍の地域には定期的に消毒して、大学内の市場の営業も回復したのである。⁽¹⁰⁾

二、日本の大学「防控」の「雲課堂」⁽¹¹⁾

コロナの2年間、人々の生活が変えられ、次から次へと感染されないようにと心配する。2020年の春から日本の幼稚園、小中学校から大学までの入園式、入学式また卒業式などが取り消しあるいは簡略化され、人々が人生の中で重要な儀式を失ってしまい、大学、高校、中学校、小学校も困難を克服して教育の計画を改善する。

1. K大学の「雲課堂」⁽¹²⁾

ここはK大学の「防控」下の教育実態を見てみよう。

コロナ最初の2020年の春から日本の大学は普通オンライン授業の方式で教育を行っていた。2020年8月中旬以降、K大学がオンライン授業から対面授業とオンライン授業を混合する方式になった。日本の多数の大学はこのようにしていた。

コロナ発生の前では教室の座席に自由に座れるが、「防控」には教室内に1メートルの距離の間隔座りに設定された。教壇の前にも「防控」のために透明のビニール一枚を掛けている。ドアと窓を開いたままに授業する時、教室同士にも邪魔しあうのもあり、寒くなった時、風邪をひく心配も持っていた。

2. K大学の「防控」管理⁽¹³⁾

①食堂「出入口単行」

大学構内の食堂は学生たちが最も密度の高い集団的集まる場所である。コロナの前、K大学工学部食堂には、利用者が3つのドアを自由に出入りしたが、コロナの期間中、食堂は片道通行のドアを設定して、その出入口は手動がなくなって、自動的「出入口単行」（出入口の一方通行）のドアを設

定された。

大学の食堂は社会の飲食店と同じくサービス態度がよいが、「防控」では大学の食堂が厳しくなってきた。規則によれば、お弁当をもって来るのは禁止、ご飯を食べる以外にはマスク着用すべき、食事がすむとすぐ退室すべきなど、またはレンジ使用さえも禁止するようになった。従業員は依然とサービス態度が良いが、利用者は手を洗って消毒してから料理を選ぶ。食堂の従業員と利用者は透明のビニール一枚で隔離している。食べるとき、友達と雑談するという贅沢のことは今、できなくなる。食堂では「黙食」にするしかないのである。

②図書館の利用と大学内の指針

教室、食堂、図書館は学生が常に行くところ、各大学は学生に図書館をよく利用させる。それが「防控」のため、K大学はパソコンで図書を予約すると、図書館が予約された図書を用意して、学生は図書館にきて、なるべく館内にいる時間を少なくする。もし、館内で資料等を探したり、印刷したりすると、館内にいる時間は二時間以内にと要求されるのである。

大学内は行動の指針を、科学研究、授業、学生の登校、学生の課外活動、学内の会議、出張と旅行等の体制を0から5までの6級に分けている。0級はコロナがなく、一切活動は正常であるが、5級以上になると、原則として一切活動を停止する。1級から5級まではコロナの対策はだんだんと厳しくなる。大学生の校外生活にも何人かで「中風険地区」以上の近くに飲食と旅行を禁止する。

その他に、大学側からの配慮はパソコンやネットワークのない学生に、パソコンを無料で貸与し、大学側のネットワークも大幅に効率を上げた。しかし学生が正常の大学教育と違ったと思い、大学側に交渉して学費を減らそうとすることもあった。または、コロナのためにアルバイトができなくなっ

て、学費に困って退学する学生もあらわれている。

③「防控」の「雲課堂」評論

京都大学のC先生は指摘した。オンライン授業は便利であると同時にコミュニケーションの効果があまりない。「防控」の下、最も不便な1点は、学生の主体的な学習力を損なうところにある。特に海外の大学に留学が決定されても行けない学生は、留学先の社会と融合できず、言語の勉強にも不利である。

しかし、大学生がコロナのために家にいる時間が多い。家族と一緒に食事したり、話し合う時間が多くなったりして、家族間の感情を増進していたが、大学生たちは家に限られた範囲内で、旅行や課外活動に参加できず、海外への留学も自国でのオンライン授業しかできない状況の中で、たくさんの楽しみと学習、個人の成長、世界の見識の機会を失ってしまったのではないだろう。

三、海外の大学「防控」の「雲課堂」

まず、ハーバード大学は2020年9月の新学期の講義が全部オンライン授業に移行すると通知された。ただし、一年生や卒業論文を書く四年生は段階的に入構して、最大40%の学生を受け入れる準備を進める。キャンパスには学生に一人部屋が用意され、リモートでの学習環境が与えられる。さらに、毎日の症状証明、3日ごとのPCR検査などがおこなわれ、ウイルスが検出された場合、最大250人が収容できる大学の検疫施設が用意されている。⁽¹⁴⁾

1. アメリカの大学「防控」の「雲課堂」⁽¹⁵⁾

①全社会に開放的「雲課堂」⁽¹⁶⁾

ハーバード大学は在学生の学習の配慮ばかりではなく、2020年4月から、ハーバード大学のオンライン授業は全世界に開放している。インターネット上のオンライン授業科目は11の学科、全部120個以上の課程、11の学科は芸術と設計、商業、パソコン科学、データ科学、教育と教学、健康と医学、人文、数学、プログラム、科学、社会科学などがある。11の学科の中に120余りの課程から短期コースの1から8週間、あるいは1週間の間に何時間かの様々なコースを、学習者が自由に選ぶ。難易度は入門、中級、高級がある。学生であれ、社会人であれ、興味を持つなら、だれでも講義に受けられる。多数の科目は無料であるが、個別の科目には学費を払う必要がある。課程を受けた後に、証明書を発行されるのである。

これから地球全員への開放的大学レベルの教育はますます発展できるよう期待する。

②学費と生活費への心配⁽¹⁷⁾

米国国際集団定年退職サービス会社とオンライン教育企業 EverFi が2020年10月、全米の7000余りの大学生に対しておこなった、最新の調査結果によれば、在籍している大学生の約38%が本学期末までに自分が学費を支払えなくなると心配する。

2020年11月12日の調査では、4割の学生が金銭問題で翌年9月までに大学を続けられないかという。T証券の報道によれば、最近、フィラデルフィアのD大学パソコンプロジェクト専攻の二年生Fさんは「今学期は全部オンライン授業で、学習環境に合わせて大学キャンパスに住む。実際に、オンライン授業は自分の学習生活のチャレンジになった。心配ごとはコロナが自分の健康をダメにするか、オンライン授業は自分の成績が悪くなるか、大学の学

費を継続的に払えるのかという。オンライン授業は長期間の集中力が必要とし、パソコンの前に2時間で座り、中に5分間の休憩もなく、そのまま連続に座らなければ、次の授業に分からなくなる。最も重要なのは毎月1000ドルの家賃と書籍と食物などのために、なるべく収入と支出のバランスを計算するが、しかし早く貯金を使ってしまい、現在ただ1ヵ月間1ヵ月間に頑張るしかない。」と取材時に言った。奨学金に頼る州立大学のJさんは「オンライン授業で優秀な成績と単位の取得は難しくて、一生懸命に優秀者になりたい。そうでなければ、学費に本当に困る」と言った。

米国公立大学の財政は主に学生（保護者）、中央政府と州政府から、一番多くの資金は州政府からであるが、コロナの下、州政府は予算の多くは医療と健康に投入して、公立大学の予算が減少した。そして、大学側は学費を増やすしかない。Fさんは語ったように「私は裕福の家庭背景がなく、大学の学費の負担は主に米国政府から提供された経済援助計画を享受している」「そのほかは自分の貯金とアルバイトから学習の生活を維持している」と。調査による「4割の学生が金銭問題」は経済難となるであろう。

2. オーストラリア、カナダの大学「防控」の「雲課堂」⁽¹⁸⁾

①海外の中国人留学生

コロナの下、オンライン授業は中国人が留学する主流の教育課程になって、新しい挑戦である。1日中、長時間でオンライン授業を受けて心理的問題が多少発生する。人生の中にはどうしても避けられない特別の経歴で、今、頑張るしかない和上海人留学生Dさん。彼は、今オーストラリアのM大学人類学学士学位を取ろうとするが、社会文化領域に強い興味を持つ為、2020年春学期から持続的には3つの学期でオンライン授業を受けたが、コロナの状況が良くなってから、小規模の対面授業になって受けたが、やはり多数はオンライン授業であった。学生人数の多い教養科目であれば事前に録画

されたオンライン授業の内容を学生が随時に視聴できるシステムに載り、便利であった。

zoom 会議のソフトは小規模の授業に使われるが、中間テスト及び期末テストも全部インターネットで回答する。このテストには人文学科の学生にとっては悪い影響があまりないが、しかし宿題の完成には、図書館で定評ある人類学の文献を借りて、入手した文献をじっくり一読する事がなければ宿題で満点を取ることができないのである。コロナのために、文献の閲読量が限られて、宿題の完成と論文の完成も非常に辛いのである。

中国人留学生のSさんは同じくオーストラリアのM大学に留学し、土木建築工事の専攻であるが、彼は2020年7月からオンライン授業を受け始めたが、たくさんの実験は必要とする。しかし教授が作った動画を見せてから、彼の学習の実践活動ができなくなるために、学習の効果もあまりなかった。留学生にとってはオンライン授業が一番不便の事として、教員と学生たちと対面の交流がないことであるが、コロナの前に授業中、もし分らない内容があったら、随時に教員に質問したり、隣の学生と討論したりしていたが、今はこれができなくなる。

オンライン授業は主に教員が知識を伝達するが、学生同士互いに交流するのは少ない。これも教員にとってのチャレンジである。なぜならば教員が話してから学生たちから賑やかに討議できず、学生の顔カメラをオフにして見せず、さらに教員の態度も変わり、割合消極的になったからである。

留学生にとってはオンライン授業を受けるばかりで、寂しい情緒を解決しなければいけない。ZさんとSさんの両学生も同じくオーストラリアのM大学の学生であるが、Zさんによれば、日常生活を充実しなければいけないと考える。私は言語教育部門のアルバイトを見つけて、環境を変えるとともに外国語の学習も大変助けてもらう。ストレスに大変なとき、友達と一緒におしゃべりしたり、自分のペットとよく一緒に遊んだりして、目の前の方向

に変換する必要がある。Sさんは次のようにいう。自分の時間を全部オンライン授業に使うばかりではダメなので、暇を作り、車運転免許を取得したので、買い物やドライブにして、私はこの方法でストレスを緩和させて、解消しようと努力するのである。前に触れた上海人留学生Dさんは「海外にいる留学生は特に、伝統的祭日にホームシックになる。そのためにいつも家族の人とビデオ電話をする。ルームメートと一緒に公園を散歩する。これも孤独感を解消する。」のである。

前に触れたカナダのB大学経済学専攻のLさんはストレスの解消をこう語る。長い間、家の中でオンライン授業して、社会的交流活動は大幅に減少する。情緒に影響を及ぼす。大学内には専門的心理的指導のカウンセラー機構があって、これは外国の大学の中では「心理ホットライン」と言われる。心理的支障を多少に整理していただくが、結局、自分自身の力で変化しつつある環境に対して心を整えていくことであろう。

②授業録画と今後の「雲課堂」⁽¹⁹⁾

カナダのモントリオールにあるK大学の学生Aさんは、美術史のオンライン授業を受けていて、ある日、「とてもいい授業だけど.....！」その授業を担当していたF教授に質問をしようというとき、信じられない事実があった。なんと、教授は新型コロナが広まる以前の2019年に亡くなっていた。大学によると、F教授の講義を収録したデータは、現在もオンラインプログラムのひとつとして利用されているということである。こうして、価値のある授業録画が長く後世に保存し活躍できるであろう。

おわりに

以上、2020年から2年間余り、中国、日本、海外の大学「防控」の「雲課

堂」を一考察した。中国ではグローバル化が進む北京Y大学を中心に、海外と国内にいる教員は国際的な学生たちと一緒に困難を克服する中、「雲課堂」と「雨課堂」を開設して、継続しているオンライン授業のまま中国語学の人材を養成する様子であった。日本は国立のK大学を取り上げ、「防控」中、様々な方法と知恵を絞り、コロナに細かく対応して、オンライン授業についての良し悪しをまとめた。今後さらに時代の進歩とともに教育の開発を期待できる。アメリカ、オーストラリア、カナダにいる現地の大学生と中国人留学生は、世界各大学と同じくオンライン授業を受けている。彼らにとっては、結局、自分自身が主体的に学習するのを大切にして、ストレスをどのように解消するかを紹介した。自分自身の人生の前半にしなければならない試練は、これからあらゆる苦難を開く準備としてチャレンジするのである。

今後、コロナウィルスがどのような変種になるかが分らないが、これから全世界の大学の教育と将来にある課題に注目して、希望と光明が必ず世界の教育を照らすに違いないと筆者は展望するのである。

注

- (1) 「防控」とは伝染病の発生・流行を予防と管理する中国語である。
- (2) 「雲課堂」とは、インターネットを通して教育的オンライン授業である。～ 百度百科。2022/02/22閲覧。ただし、本文には日本人と外国人の「雲課堂」を「オンライン授業」と表現する。
- (3) 「雨課堂」は、「学堂在線」と清華大学「在線教育弁公室」の共同開発であった。教員と学生とは授業前、授業中、授業後、互いに交流ができる複雑な技能を通して、パワーポイント、wechat、MOOC（大規模に開いたオンライン講座）の動画、宿題、音声を生徒の携帯電話につながり、授業にいつでも参加できることである。<https://baike.baidu.com/item/%E9%9B%A8%E8%AF%BE%E5%A0%82/19780063> 2022/02/25閲覧
- (4) コロナの感染については、日本の「0～5の6級レベル」分類と違って、

中国は「高風險地区と中風險地区」の2種類がある。例えば、1つの団地・村には10名以上の感染者だと「高風險地区」、10名以下だと「中風險地区」と定められる。～中国國務院連防連控「コロナ疫情分区分級基準 正確に実施と管理する通知」から、コロナの感染を「清0」（ゼロにする）ことによって、感染者を完全に隔離させることにする。<https://www.sc.gov.cn/10462/10464/13722/2021/11/10/d0c69ea270c643578fa1fbc77e4a2272.shtml> 2022/02/23閲覧

- (5) 2022-02-10 新京報、https://www.sohu.com/a/521912220_114988
2022/02/14閲覧
- (6) 2022-02-11 『「登校延期！」何か所の大学「发布开学提醒，上课时间定了」』
https://www.sohu.com/a/521899861_121294?scm=1007.68.173002.0.0&spm=sm pc.content-abroad.fd-d.4.1645229490846WN4g7sk&f=index_pagerecom_4 2022/02/14閲覧
- (7) 2022-02-11 『「登校延期！」いくつかの大学の「发布开学提醒，上课时间定了」』
https://www.sohu.com/a/521899861_121294?scm=1007.68.173002.0.0&spm=sm pc.content-abroad.fd-d.4.1645229490846WN4g7sk&f=index_pagerecom_4 2022/02/14閲覧
- (8) 2020-05-01 【线上教学】语言学系：跨越时空，搭建云课堂
<http://yqfk.blcu.edu.cn/info/1002/1901.htm> 2022/02/14閲覧
- (9) スイスのジュネーブ大学言語学専攻したS博士は言語学系教員の国際化のモデル的人物であって、2019年4月北京Y大学の専任した後に同僚と一緒に全力で言語学系の建設に貢献した。教育については学生のために言語学理論の実験方法と言語の習得と歴史に残る句法等の課程を開設した。また、他国との友好的な交流でオンライン国際会議のWebinarを開設と主催した。かつ2019年に知名出版社に専門書A Critical Approach to the Cartography of V2を編纂したのである。～2020-05-01 【线上教学】语言学系：跨越时空，搭建云课堂 <http://yqfk.blcu.edu.cn/info/1002/1901.htm>
2022/02/14閲覧
- (10) 2020-05-01 「北语为在校学生提供节日免费暖心餐」<http://yqfk.blcu.edu.cn/info/1002/1900.htm> 2022/02/15閲覧
- (11) 2021年08月26日 JST 客观日本编辑部、张燕波「从神户大学看日本大学采取的新冠疫情对策」。
https://www.keguanjp.com/kgjp_jiaoyu/kgjp_jy_gdjy/pt20210826000002.

html 2022/02/15閲覧

- (12) 2021年08月26日 JST 客观日本编辑部、张燕波「从神户大学看日本大学采取的新冠疫情对策」
https://www.keguanjp.com/kgjp_jiaoyu/kgjp_jy_gdjy/pt20210826000002.html 2022/02/15閲覧
- (13) 2021年08月26日 JST 客观日本编辑部、张燕波「从神户大学看日本大学采取的新冠疫情对策」
https://www.keguanjp.com/kgjp_jiaoyu/kgjp_jy_gdjy/pt20210826000002.html 2022/02/15閲覧
- (14) 2020-04-24 小编来源：哈佛中心上海公众号 <https://tabi-labo.com/296238/wt-harvard-hold-online> 2022/02/25閲覧
- (15) 来源 <https://pll.harvard.edu/>
 紹介 <http://sli.bnu.edu.cn/a/danxingjiaoxue/pingtaiziyuan/2020/0428/1374.html> 2022/02/25閲覧
- (16) 具体的課程について以下のアクセス <https://online-learning.harvard.edu/>。
 来源：<https://online-learning.harvard.edu/> 2022/02/25閲覧
- (17) 2020/11/12 孔梦菲编辑 <https://www.findworldedu.cn/2020/1544.html>
 2022/02/18閲覧
- (18) 2021年10月21日「中国侨联『疫情下的“云”留学』」
<http://www.chinaql.org/n1/2021/1021/c441352-32260269.html>
 2022/02/18閲覧
- (19) 2021/02/06 TABI LABO 編集部「亡くなった教授がオンライン授業に登場!？」
<https://tabi-labo.com/299084/wt-art-history-professor-online-course> 2022/02/25閲覧